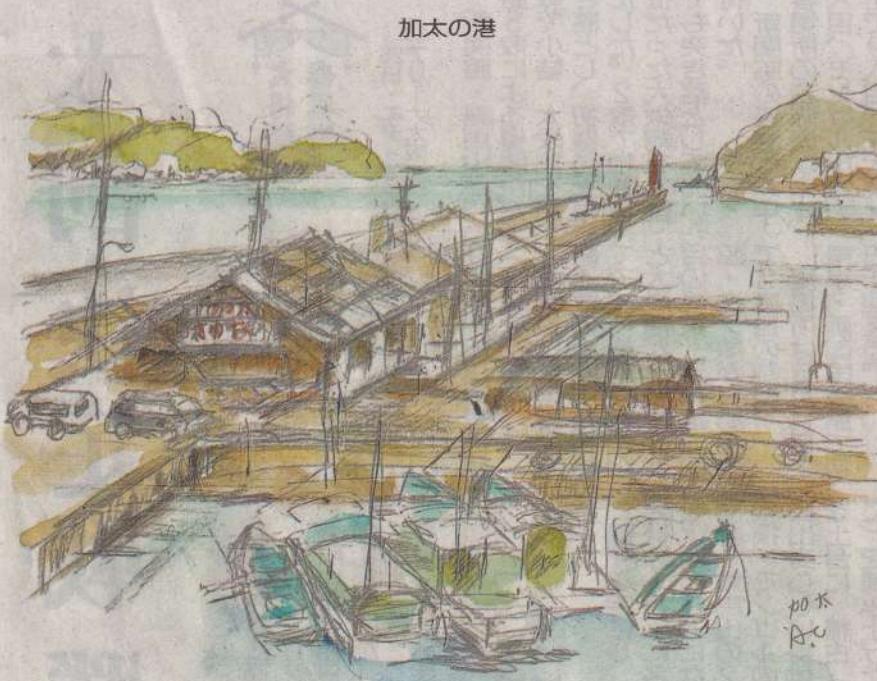


2023年(令和5年)3月27日(月)

和歌山

紀伊・房総 くろしお物語 ◇32◇



終わりの見えないウ
クライナ侵攻が続くな
か、コロナウイルス感
染症の流行は下火に向
かっており、5月から

月3日の桃の節句の淡
嶋神社(和歌山市加太)
では、子どもの成長と

海沿いに女性参拝者に
より小舟に担がれて桟
橋まで運ばれる「渡御」

10年ほど前に訪ねた
とき、全国から供養の
ため集められたひな人
形のうち、何百体かが

1年に4万~5万体の
ひな人形が集まるど

う全国的神事がここ
で行われるのはな

ぜかと、門前に構える
老舗旅館「大阪屋ひい
なの湯」の利光伸彦社
長に尋ねると、地理的

新しい木の香りのす
る客室に通されると、
漁港を足元に左側沖に
友ヶ島、中央手前には
突堤と灯台、中央奥の
深山の高台には休暇村

は見事であった。
神事が例年通り行われ
た。

10年ほど前に訪ねた
とき、全国から供養の
ため集められたひな人
形のうち、何百体かが

1年に4万~5万体の
ひな人形が集まるど

地の利に恵まれた加太の浦

絵と文・熱田親恵

題字・熱田秦華

漁業の発展にもつなが
り、江戸時代にイワシ
を追って関東に旅網す
る漁港となつたので

湯」としてリニューア
ルしました

て船の潮待ちのでき
業して何年になります
か

る浜と「宿」が繁栄し
たのです。当時、この
旅館大坂屋は約2
00年前の江戸末期に
誕生、20年前に隣接の
老舗旅館を吸収、17
年前に「大阪屋ひいな
の湯」としてリニューア
ルしました

船の潮待ちの浜と宿

条件として次の説明があつた。

平安から鎌倉時代にかけて隆盛した修験道の西方極楽淨土信仰や、仏教の西の阿弥陀信仰から四国方面に旅する人が増え、遍路道として、時には参勤交代や観光の公道として、潮待ちができる海岸は入江のある砂浜ではなくてはならず、加太は好条件だったので、流通のできる港と

が西日で輝いていた。休暇村からは淡路島と友ヶ島が挟む紀淡海峡を通って大阪湾沖で開国を迫ったロシア軍の史実があった。また休暇村の傍には深山第一砲台跡があり、第二次世界大戦の本土決戦の際に、近い将来の夢を聞かせていただいた。

紀州人は常に目が外を向いているのは、江戸時代も今も変わらないと感じさせられた。

加太の港

紀州加太の白堜のビルが世界に広めるため、

生きした『日本料理』を世界に広めるため、

外国人籍の料理人を育てて海外に日本料理店を開く支援をしたいと思

って現在、料理を学びたい方を募集中です

と、近い将来の夢を聞かせていただいた。